



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 高橋 順子

幼児期の学び

～展覧会の活動から～

園長 高橋 順子

明けましておめでとうございます。今年は、東京は晴天に恵まれた幕開けでした。健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年もよろしくお願いします。

さて、12月号の園だよりでもお知らせしたとおり、「音」をテーマに、東京都の「とうきょう すくわくプログラム」に取り組んでいます。展覧会の中でも、「音」のテーマも入れて取り組みました。作品としては、SDGs フェスティバルで使った手作りの太鼓、どんぐりとペットボトルで作ったパラカスで、自分で楽器を作る経験をしました。5歳児年長さくら組は、「音からアート」といって、身近な紙をちぎったり、丸めたりする時の音、大きな紙と小さい紙やちぎる速さによる音の違いなどに気づく経験をしました。さらに、おばけやしきごっこの時、「どのように音を出すと怖いかなどと、自分たちで道具を選び、怖い音の出し方を工夫していました。

さらに、展覧会会場の中に設けた「音遊びコーナー」では、様々な年齢の方とともに、音遊びを楽しむ姿をみることができました。展覧会にきょうだい関係でいらした未就園児のお子さんは、目の前にあったベルに気がつくと、もう一度、ベルをたたき、音がなることを試していました。楽器のとふれあうことで自分で音を鳴らすという能動的なことを楽しんでいました。4、5歳児は、空き箱、空き缶、太鼓、木琴と自分で触ってみたい楽器を身近に集めてその組み合わせを楽しむ姿が見られました。小学生との交流では、音階がある楽器は曲を弾こうとしたり、「どうしてなるの？」と空き缶の中に入れてあるものの謎解きなどをしたりして楽しみました。参加された大人の方はどう感じたのでしょうか。できればお伺いして、乳幼児から大人の「音」の探究のヒントにしたいと思います。

3学期は、1月9日は第2回目の和太鼓の演奏を鑑賞、2月14日はうたあそびコンサートを通して「音」からの気づきを体験していきます。未就園児や近隣保育園の友達も招待しています。皆さんは、どのようなことを感じ取るのでしょうか。これからも、皆さんと一緒に「音」からのさらなる発見を楽しんでいきたいと考えています。

1月の指導のねらい

- 4歳児
 - ・自分の思いや考えを出したり、相手の思いを聞いたりしながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・学級みんなでイメージを共有し、役になりきって動いて表現することを楽しむ。
 - ・冬の生活に必要なこと（手洗い・うがい）が分かり、自分で行おうとする。
- 5歳児
 - ・友達に自分の考えを言ったり、友達の考えを受け入れたりしながら遊びや生活の場を一緒に進めていく。
 - ・カルタとりやトランプなどで遊びながら、文字や数に触れ関心をもったり、凧を作ったりして正月遊びを楽しむ。
 - ・学級の友達と一緒に子ども会の活動に取り組む中で、自分らしさを発揮し、これまでの経験を生かして、劇を作り上げる充実感を味わう。